

釧路南ロータリークラブ会報

第22回 例会報告 2007.12.14 通算1233回

・点 鐘 佐野会長

・本日のプログラム

「上期の反省・下期の検討」

担当 会長・幹事

・ロータリーソング

「我等の生業」

ソングリーダー 長江 勉会員

・入会記念祝

北村 甲三会員 H 13. 12. 20 (6年目)

・会長挨拶

先週12月7日の年次総会におきまして、次年度の役員・理事の選出が行われましたが、候補者の選出をしていただいた北上会長エレクト、大変ご苦勞様でした。また会長ノミニーの選出には工藤ゆかり会員に受けていただき、大変有難う御座います。上期ももうすぐ終わります。新年度に入りますと、いろいろ次年度の準備で会長セミナーや地区協議会があります。さらには活動計画書の準備も出てきます。会員の皆様には、北上会長エレクト工藤ノミニーに全力で協力していただきたいと思ひます。

・幹事報告

- * 本日、理事会を開催しております。
- * GSEの派遣に3万円の餞別を当クラブより
- * 家庭集会を2月以降に開催いたします。
- * 釧路北ロータリーアクトより11月分例会報告を拝受しております。
- * ロータリーの友12月号を拝受しております。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金
北村 甲三会員 入会記念祝として

●職業奉仕 福井克美委員長



職業奉仕は、事業、専門職務及び職場に適用し、実践するように示されています。職業を通して、社会に奉仕すると共に、職業に対する理解を深める事で、自分の職業の質を高め、道徳性を高めて経営の健全化に努めることです。ロータリアンが

自ら職業を維持し、発展させる事が必要です。今年度の重点目標に掲げたことに7点あります。

1. 職業移動例会を行う。

上半期は鳥取神社で例会を行いました。鳥取開拓百年記念会館で開拓時や歴史的な貴重な品々を見学させていただき感動を得ることが出来ました。出席率もよく嬉しく思っています。下半期もふだんいけない場所を選んでみたいと思ひますので楽しみにしてください。

2. 全ての会員に「四つのテスト」を周知し、毎月1回例会で全員が唱和する。

毎月、第一回例会に全員で四つのテストを唱和しています。第一例会は国歌斉唱もありロータリーソングを入れると3曲になるので第二例会でも良いかなと思ひています。

3. 会員の職業について会員卓話で話す。

新会員は特に自己紹介を含めて会社や仕事の内容について卓話で話していただいています。

4. 職業奉仕月間(10月)には、特別ゲストとして講師による卓話をする。

上半期は卓話が出来ませんでしたので、下半期に職業奉仕の卓話をしたいと考えています。

5. 地域社会に貢献している個人、団体等を表彰する。

下半期に皆さんから推薦を頂まして地域に貢献

している人が団体を表彰したいと考えています。

6. 職場で高校生や大学生のためのインターンシップの場を提供してもらおう。

それぞれの会員のところで高校や高専、大学などからインターンシップの受入をして頂いています。私の会社も高専のインターンシップや未就職者の職場体験などに協力しています。

7. 研究グループ交換チーム (GSE) のメンバーを、職場視察に受け入れてもらおう。

9月に3330地区からGSE訪問団が派遣されてきましたので、当クラブではGSE団長のトゥイさんを北上会員にホームステイの受入をして頂きました。南クラブ担当日には阿寒湖畔までバスで研修に参加しています。

下半期も残りの計画を予定通り実施できるように努力して参ります。

●佐野会長



本日は、2008年度から2009年度・上期の反省、下期の検討ということでお話させていただきます。早いもので7月1日より発足しましたが、もう半年が過ぎ次週の年末クリスマス家族例会で上期が終了します。上期を無事に終えることが出来たのも、役員・理事の皆様をはじめ各委員会の委員長さん、また会員の方々のご支援とご協力、さらには、私をサポートしてくれる長倉幹事の協力のおかげと心より感謝しています。今年度R Iテーマ「ロータリーは分かち合いの心」地区テーマ「自然環境をロータリーに生かそう」をテーマに私の会長方針を決めました。

クラブの目標は1、会員増強

2、例会出席の向上

3、委員会活動の活性化であります。

1、の会員増強につきましては、現在4名の増員と

いうことで下期も気をゆるめず一人一名の増員が出来るよう頑張ってもらいたいと思います。

2、の例会出席の向上は、新入会員の例会出席率も良く徐々に出席率は上がってきていると思います。

3、の委員会活動の活性化につきましては、地区の各種セミナーに出席義務者の委員長さんの出席をしていただき他のクラブより出席率がよかったと思います。また委員会活動の方も順調に活動計画をクリアしていると思われま。下期に関しましても、当初の活動計画を達成できるように頑張ってもらいたいと思います。

今年度地区GSE委員長及び委員が南クラブから出ておりますが、上期の受け入れに関しては北上会員にホストファミリーをしていただき、また会員の協力もあり大成功に終わることが出来たと思います。

また下期にはGSEの派遣ということで、南クラブもホストクラブになりますのでさらにGSE委員会に協力して成功に終わらせたいと思いますのでご協力をお願いします。最後になりますが、下期も長倉幹事宜しくお願いします。

●長倉幹事



今年度の会長方針は

① 会員増強

② 例会出席の向上

③ 委員会活動の活性化となっております。

会員増強はスタート時点での25名から4名増員1名減の実増3名の増員という事で上期を終えようというところ。特に、上期は会員全員の危機

感があり、高橋会員増強委員長のリーダーシップの基に4名の新入会員を迎える事ができ結果としては、ここ最近の現状からみますと良い結果と言えると思いますが、ここに来て会員増強の話がピタッと止まり結果の満足感が会員増強の意識の低下に繋がってしまったような気がしております。

私自らも会員増強にと、あちらこちら声を掛けてみておりますが、簡単には増員する事が出来ず、その難しさも感じておりますが上期のクラブ会員全員の意識の高まりが4名の増員に繋がったとすれば気持ちを新たにとにかく今期は増員に力を入れて毎年、毎年そのことばかりに力を集中しなくても良くなるような状況にならなければいけないと思いますので、益々のご協力をお願いいたします。

委員会活動につきましては、四大奉仕委員会において上期は会合を持ち今期の活動の計画の話し合いを持つことができておりますが、小委員会の会合はできず下期の課題としてこれを推し進めていきたいと思っております。家庭集会につきましては、年度2回開催という予定でしたが上期は行っておりませんので下期の2回行う事とし理事会にて日程の調整をいたします。その他、クラブ協議会、討論会、年次総会、理事会と会員皆様のご協力により今のところ順調に進んでいると考えております。

新たな取り組みとしては、地区協議会、地区大会等の宿泊補助、交通費の補助を今年度より始めましたので会員の負担を軽減し参加しやすい環境にすることができました。来期は共に釧路開催となりますが、次々年度からは新入会員も含めて参加することができれば有意義な大会とすることができると考えます。全体を通して、幹事としてはもちろん初めての幹事経験であり分からない事ばかりで戸惑うことも多くありましたが、幹事経験者の木内副会長や佐野会長を始め多くの会員の皆様にご指導いただきなんとか少し慣れてきたかなと思っております。

まだまだ、実務として不十分なところもありますが、下期に向け改善しました、今期で解決できない部分は来期以降のクラブ運営に生かせるようクラブの運営のあり方をより良いものと出来るよう考えながら下期に向けたと思いますので、残すところ6ヶ月間引き続き、皆様のご協力をいただきたくお願いいたします。反省と検討といたします。

●クラブ奉仕 工藤ゆかり委員長



各小委員会の委員長様さらに委員の皆様を支えられて上期も無事終わろうとしています。

ありがとうございます。

上期の反省・下期の検討

●出席委員会

上期は集団メーキャップの実施有りありがとうございました。下期も集団メーキャップの実施宜しくお願い致します。

●クラブ会報委員会

毎週のことで一番大変な委員会です。上期は特に問題なくこれからも宜しく願います。

●プログラム委員会

予定が変更になったり大変ですが、上期は特に問題なくこれからも宜しく願います。

●メディア委員会

特に問題ありません。これからも宜しく願います。

●職業分類会員選考委員会

特に問題なくこれからも宜しく願います。

●ロータリー情報委員会

上期新入会員を集めての勉強会がありました。ありがとうございました。上期は特に問題ありません。これからも宜しく願います。

●親睦委員会

親睦委員長がとても立派なので特に問題ありません。親睦委員の皆様これからも宜しく願います。

●会員増強委員会

上期は新入会員4名増と素晴らしい功績であります。出来ましたら、この勢止めないで下期に持ち越し宜しく願います。

下期も各小委員会の委員長様宜しく願います。ありがとうございました。

●社会奉仕 清水 哲委員長



社会奉仕委員会の上期の反省と言う事で申し上げます。

新年度発足のときに申し上げました三科目の活動計画のうち第一の項目、環境保全のための植樹は計画通り終了いたしました。第二項目の緑化運動の推進については、本計画年度の後期に活動する予定で未だ手を着けておりません。第三の社会奉仕の実践については、こばと学園が鶴ヶ岱に移転するのを契機に、何か役に立つものを贈ろうと計画、どうせ贈るなら希望する必要な物にしたほうが喜ばれ、為になる事だと委員と幹事で学園を訪問、希望の品物を申し出るよう要請して参りました。いずれ希望の品物と予算をすり合わせ決定したいと思います。以上です。

●国際奉仕 花田善廣委員長



今期の上期の反省点と報告を申し上げます。

先ず、11月の財団月間に、毎年目標として掲げられております一人100ドルの年次寄付へのお願いを申し上げます。13名の方にご協力を頂きました。

た。それで今期は2名のポールハリスフェロー、2名のマルチポールハリスフェローの認証を頂く予定です。

国際奉仕活動への協力は、地区GSE委員会の船戸委員長、福井委員を輩出しておりますので、3330地区からの受け入れについては、北上会員にチームリーダーのホストファミリーを受けて頂き、クラブの夜間例会に招待し、研修には会員が手分けして付添い、訪問団のメンバーは実り多い成果をあげて無事帰られました。ただ地区のGSE委員会の船戸さん、福井さんは2月からの派遣に向けて、より忙しい準備に追われています。

南RCが国際パートナーとして、ロータリー財団（TRF）へ申請を行いましたマッチンググラント（MG）「インドネシア3400地区の学童との植林事業」ですが、11月のベイRCとの合同例会のときに一部お話ししましたが、財団の国際奉仕支援の優先順位により、申請の再考を求められています。非常に困難を極めておりますが2500地区の世界社会奉仕委員会の方も1月に委員会を開き、それに対する方針を決めることとなります。地区の笹谷委員長からは、再申請を行ったり、承認を待つなど長い時間南RCに迷惑をかけられないと、これから予定されている3330地区とのMGに転換する方法もあるのではないかとされています。3330地区とは、船戸さん、福井さんのおかげで今回のGSEを通しての関係が築かれておりますので、その時にはまた、理事会、会員の皆様にご相談申し上げます。



・次回のプログラム

12月21日（金）

「年末家族例会（家族同伴）」

会場 釧路全日空ホテル

担当：親睦活動委員会

・点 鐘 佐野会長
今週の会報担当：木内治彦会員